木村 翔太

主塞

罢夕

準決勝

[46]

公式記録

令和7年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

日時 2025 年 11 月 3 Н (月 13 35 キックオフ 会 場 ユニバー記念競技場 候 晴れ. 天然芝 人工芝 • クレー 狀 能 良好 試合形式 80 分 延長 20 分 PK戦 右 運営責任者 笠原 弘樹 会場主任 田村 孝次 記録 渡邉 悠 加藤 純治 観 衆 4,853 人 副審1 羽渕 第4の審判員 琢士 主 審 木村 翔太 友登 副審2 吉次 斤 中川 チーム名 kick off 前半 チーム名 延 kick off 0 後半 神戸弘陵学園高校 0 0 AIE国際高校 O \cap 0 延前 0 (3)(1)選手番号 延後 O 選手番号 0 18 6 Κ 0 0 PK戦 × 0 $0 \times$ 1 0x0 鉪 交代 シュート 番 シュ (学年) 選手 名 (学年) 選手 名 位置 位置 OUT時間 延後 延前 後半 前半 믇 믕 前半 後半 延前 延後 OUT時間 分 舷 3 年 GK GK 1 奥原 崇陽 3 # 分 今井 凛太朗 DF DF 水谷 建当 2 3 Æ 分 3 年 87 分 分 西田 啓人 3 年 3 DF DF 3 森下 鈴斗 2 年 分 構川 陽의 DF DF 尾村 英珠 分 *3 年* 4 14 分 DF DF 本田 望显 川崎 絢梧 8 3 Æ 96 分 分 2年 20 分 梅原 良弥 3 年 MF MF 6 河本 瑞樹 3 年 1 1 分 分 松浦 旺生 2 年 19 MF ME 7 上村 窓柱 *3 年* 2 分 壱樹 NΛΕ 堀口 添生 94 分 1 洲 3 年 MF 11 3 年 71 分 丸山 瑛太郎 2 年 MF MF 畠山 龍登 分 EHT 分 野元 幹太 *3 年* FW FW 山内 大地 *3 年* 2 86 分 94 分 10 9 FW HT 分 給木 竣也 2年 21 ΕW 10 宮城 丸. .3 年 1 分 宮森 飯野 龍太郎 分 司 *3 年* GK GΚ 2 年 分 信宮 一稀 DF 渡邊 颯英 3 年 DF 3 4 19 分 分 葉流 DF 分 玉田 3 年 5 DF 松永 魁成 .3 年 分 3 分 中井 煌士 3 Œ 13 DF MF 12 杉山 泰良 3 # 分 MF 禅太 高田 茶太郎 MF 13 知名 分 3年 3 年 分 11 **授稀** 分 外嶋 亮太 3 8 MF NAE 16 茂木 3 年 分 17 分 猪坂 蓮 3 **#** MF MF 青木 日向葵 *3 年* 分 2 10 分 白石 蒼悟 3 Œ 9 FW FW 15 木曽 壱郁 3 Æ 分 分 JŁШ 大成 2年 18 FW ΕW 18 与村 心響 3 年 分 9 問部 警・退 事由 合計 延前 後半 前半 前半 後半 延前 延後 合計 時 間 事由 No No. 水谷 西田 反ス 24 分 警 3 啓人 反ス 2 3 シュート 5 Ω Ω 6 78 分 2 建斗 29 警 10 野元 幹太 ラフ 14 0 5 8 GΚ 6 4 1 0 11 分 分 4 3 0 CK 2 0 4 0 分 分 12 5 7 直接FK 5 2 16 \cap Ο 8 分 分 分 2 0 0 1 間接FK 0 0 0 分 分 0 0 0 0 PK 0 0 0 О 0 分 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] [警告事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2 時間 スコア 略号例:ドリブル〜・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS チーム 得点者 [得点経過] 分 分 分 得 分 分 分 経 分 過 分 分 分 分 戦評者 所属/名前 【 洲本/北井 倷 啓明/ 富瀬貴規 神戸弘陵のキックオフで試合開始。 やや強めの風が吹いており、AIEが風下という状況。 神戸弘陵、AIEともに1-4-4-2のシステム(神戸弘陵は1-4-4-1-1に近い)で序盤はお互いに長いボールを多用するシンプルなプレーでリスクを侵さない展開。徐々に神戸弘陵にスタイルが見え始め、サイドハーフの11池や17丸山が幅をとる動きを見せる。 6梅原による質の高いサイドチェンシのパスによりサイドを崩し始めた。 対してAIEは粘り強く、かつ高い強度の守備で相手の攻撃を阻み、ボジティフトランジションで素早く前線に配球し相手コートに押し込む攻撃を展開。 高い位置でボールを保持した際の10宮城のスピードのあるドリブルにより相手ゴールを脅かした。 後半も前半と似たような試合展開が続き、55分まで互いにシュートは2本ずつ(GKによるシュートストップの本)という拮抗した状況。 60分、AIEによるトリックを用いたFKでAIE9山内のシュートがバーを叩き、跳ね返ったボールをAIE7上村がヘディングで押し 韱 込むものの再度パーを叩いた。ここから試合が動き始め、徐々にオープンな状況になる。68分、後半開始から神戸弘陵21鈴木と交代して出場した18北山が右サイドを突破してチャンスを作るが、AIE6河本による素晴らしい対応によりゴールを阻む。70分にAIEは11堀口に交代してスピードのある13知名を投入し、チーム全体の推進力をあげると72分に右サイドを突破した10宮城がカットインからのシュートを試みるが神戸弘陵2今井が上手くシュートコースを消すことで神戸弘陵GK1鹿屋がボールを捕球。互いに無得点のまま延長戦に入り、延長戦 でも得点ならずPK戦に突入。延長後半終了直前に投入された神戸弘陵GK12宮森が1本目にセーブ。AIEのGK1奥原も3本目にセーブしたが、神戸弘陵がPK3-1で勝利。限界まで戦った

両チームに賛辞を贈るとともに、神戸弘陵の決勝での健闘を祈る。